



平成 29 年 6 月 28 日

各 位

会社名 岡野バルブ製造株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡野正紀
 (コード番号 6492 東証第2部、福岡)
 問合せ先 取締役総務部長 木村浩一
 (TEL 093-372-9215)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 1 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 11 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,029	167	246	162	93.30
今回修正予想 (B)	3,412	△129	△15	△22	△12.89
増減額 (B-A)	△617	△296	△261	△184	
増減率 (%)	△15.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年11月第2四半期)	3,321	47	89	57	33.06

※当社は平成 29 年 6 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

平成 29 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,250	370	520	310	178.60
今回修正予想 (B)	8,340	220	390	210	120.99
増減額 (B-A)	90	△150	△130	△100	
増減率 (%)	1.1	△40.5	△25.0	△32.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年11月期)	7,501	113	419	226	130.36

※当社は平成 29 年 6 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

平成 29 年 11 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,979	157	201	132	76.02
今回修正予想（B）	3,360	△133	△13	△21	△12.22
増減額（B－A）	△619	△290	△214	△153	
増減率（％）	△15.5	－	－	－	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 28 年 11 月第 2 四半期）	3,277	28	84	56	32.80

※当社は平成 29 年 6 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

平成 29 年 11 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,150	350	435	250	144.03
今回修正予想（B）	8,240	210	370	200	115.23
増減額（B－A）	90	△140	△65	△50	
増減率（％）	1.1	△40.0	△14.9	△20.0	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 11 月期）	7,409	93	333	173	100.02

※当社は平成 29 年 6 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループにおきましては、主に原子力関連において受注済案件の売上計上時期が流動的であり、正確な業績予想数値の算出が困難な状況にあります。

このような状況の下、当第 2 四半期の業績につきましては、バルブ事業において海外向け大型案件の売上の一部が下期に繰延べとなったことから、売上高が期初の予想を下回る見込みとなりました。また、利益面におきましても、バルブ事業における売上高減少に加え、材料・部品価格の高騰に伴う製造コストの上昇などが要因となり収益性が悪化したことから、期初予想に比べ大幅な減益になることが予想されます。これらのことから、売上、利益ともに期初の予想を下回る見込みとなりましたので、第 2 四半期の業績予想を修正するものであります。

通期におきましては、バルブ事業において上期から繰延べとなった海外案件のほか、メンテナンス事業におきましても引き続き大型復興関連工事が予定されており、期初の計画から若干の増収を見込んでおります。一方、利益面におきましては、売上高増加に伴い収益性が改善される見通しですが、上期損失計上分をカバーするまでには至らず、引き続き厳しい状況で推移するものと思われま。

これらの結果、利益面において期初の予想を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正するものであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。